

# 26年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課	土木部道路都市局都市整備課
------	---------------

平成27年3月31日現在


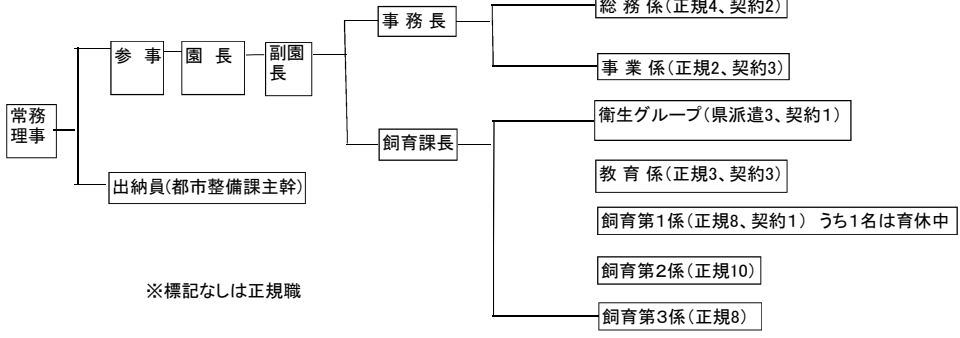
## 1. 施設名等

施設名 (設置年月日)	とべ動物園 (昭和63年4月1日)	所在地	伊予郡砥部町上原町240 電話 089-962-6000 HP <a href="http://www.tobezoo.com/">http://www.tobezoo.com/</a>
----------------	----------------------	-----	---

## 2. 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人 愛媛県動物園協会	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	(5年間)
--------	-----------------	------	------------------------	-------

## 3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民が動物とふれあい、豊かな心を助長させるとともに、動物の知識を得て動物愛護の精神を学ぶ教育の場として、また憩いや潤いを提供する場として設置。	
施設内容	主要施設 ○獣舎…カンガルー・ワラビー舎ほか35棟    ○管理施設…管理事務所ほか14棟 ○便益施設…便所ほか8棟	
指定管理者が行う業務	①運営に関する業務 ②県立都市公園条例第6条の規定による公園の利用の禁止又は制限に関する業務 ③利用の許可に関する業務 ④利用に係る料金の收受に関する業務 ⑤利用者への便宜の供与に関する業務 ⑥利用の促進に関する業務 ⑦施設、附属施設及び備品の維持管理に関する業務 ⑧その他知事が定める業務	
施設の管理体制	 <p style="text-align: center;">※標記なしは正規職</p>	
利用料金等	利用料金制 <input checked="" type="checkbox"/> 採用している <input type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) 消費税引き上げ(5%→8%)に伴う利用料金の改定(大人入園料金450円→460円、大型車駐車料金760円→780円)	
開館日・開館時間	毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、開園)及び12月29日から1月1日が閉園日でそれ以外の日は開園 午前9時から午後5時まで	

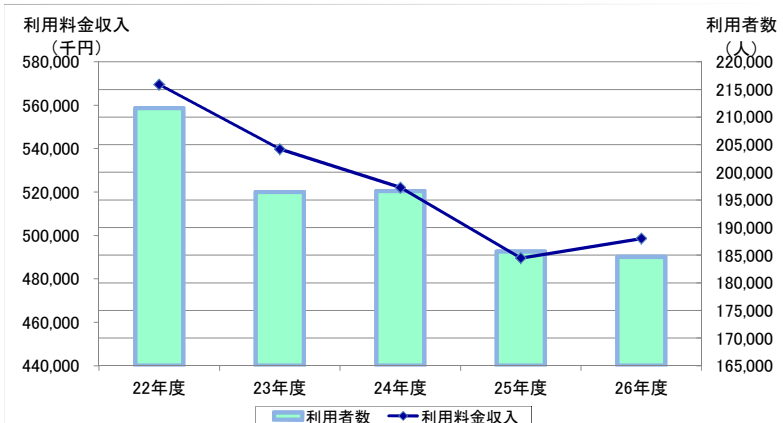
## 4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
県委託料(千円)	327,747	312,481	312,481	312,481	350,881	350,881

## 5. 施設の利用状況

### (1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	対前年度増減率
利用者数(人)	558,756	520,073	520,546	492,663	490,087	△ 0.5 %
利用料金収入(千円)	215,880	204,206	197,261	184,487	188,014	1.9 %



### (2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由
(利用者数)
-
(利用料金収入)
-

## 6. サービスの質向上に向けた取組み

### ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は新たな取組み、※は利用者からの要望による取組み)

平成26年度の内容	平成27年度の内容(予定含む)
<p>○夜の動物園の開催回数増加(年8回実施)、動物の誕生会他の事業の実施</p> <p>○移動動物園、サマースクールなどによる動物の知識及び愛護思想の普及活動を例年同様実施。</p> <p>○開園日の増加 臨時開園日年間12日</p> <p>○年間パスポートや各種割引の入園料金のサービス、こどもの城及び運動公園との駐車料金の連携サービスの継続</p> <p>【新たな取組み】</p> <p>☆施設設備の改修・更新</p> <p>    バードケージの改修、チンパンジー獣舎拡張</p> <p>    園内通路の再舗装、各獣舎の再塗装、入り口ゲートの再塗装</p>	<p>○夜の動物園の開催回数増加(年8回実施)、動物の誕生会他の事業の実施</p> <p>○移動動物園、サマースクールなどによる動物の知識及び愛護思想の普及活動を例年同様行う。</p> <p>○開園日の増加</p> <p>○年間パスポートや各種割引の入園料金のサービス、こどもの城及び運動公園との駐車料金の連携サービスの継続</p> <p>【予定】</p> <p>☆施設設備の改修・更新</p> <p>    ※アフリカゾウ舎の改修</p> <p>☆動物園の魅力をPRするシンポジウムを園外で開催</p>

### イ) 利用者からの声への26年度の対応状況

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容	利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>○ピースのバドックを広くしてほしい。</p> <p>○オランウータンの綱渡りを見て感動した。</p> <p>○コウモリガイドを楽しみにしています。</p> <p>○餌のモナカが檻の中に入りにくい。</p> <p>○パイソンはいつ入りますか。</p> <p>○羊の毛刈りに来たが、年齢制限が有り参加できなかった。</p> <p>○各施設にシャワーかミストがあれば夏場も気持ちがいい。</p> <p>○飼育員が動物がいる檻の中に入るのは危険ではないのか。</p> <p>○駐車料金徴収所職員の態度が悪い。</p> <p>○切符売り場職員の態度が冷たい。サービス業のプロとしての意識を持って欲しい。</p>	<p>・施設の改修や修繕については、今後も県と協議しながら来園者の快適な環境整備も考慮して計画的に進めていきたい。25年度にアフリカゾウ舎の増設要望があったことも考慮し、27年度には旧アジアゾウ舎でアフリカゾウを飼育できるように通路を整備する予定である。</p> <p>・フリーディングローンなどを活用して動物の貸し借りを実施し、繁殖につなげるように努めている。合わせて、空き獣舎がないようにする。</p> <p>・動物の動きが見えるようなイベントを今後も実施する。</p> <p>・イベントの正確で詳細な告知に努める。</p> <p>・職員の接客態度の改善に努める。</p> <p>・以上のほか、利用者からの苦情や要望を受け、施設の改善や職員の親切、丁寧な対応など意識改革を図り誠実な対応に努めた。</p>

## 7. 26年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>26年度の入園者数は、490,087人とほぼ前年度並みであった。動物園管理部門の収支は引き続き赤字となっており、今後、天候等に左右されない安定した入園者の確保、県からの管理委託料の増額など抜本的な収支改善策が必要となっており、対応を県と協議中である。</p> <p>動物の飼育管理においては、レッサーパンダ、カンガルー、アシカ、ライオン等の出産に成功し、特にライオンは愛らしい仔の様子を公開・展示し人気を博した。また、アフリカゾウはファミリーでの展示が全体的にも珍しく大好評で、(公社)日本動物園水族館協会の古賀賞を受賞した。更に、フリーディングローンを活用し、チンパンジー、キリン、サーバルキャット、カピバラを搬入するなど、積極的に動物の搬入を行い繁殖を図っている。今後も、高齢化が進んでいる動物の計画的な確保を考えていきたい。</p> <p>施設面では、県と協議しながら計画的に施設改修も手がけており、26年度はバードパークとチンパンジーの森を改修した他、カピバラ舎を協会経費で整備した。これからも、安心、安全な施設を維持するため、老朽化が進んでいる施設の計画的な改修が必要であるとともに、入園者確保のためには動物をより魅力的に見せるための工夫が必要であり、県当局に対し要望していきたい。</p> <p>今後も来園者アンケートや電子メールなどの利用者の声に真摯に耳を傾け、県民に愛され、多くの県外客にも利用される魅力ある動物園づくりに向けて県当局と協力しながら、努力を続けていきたい。</p>	<p>・26年度は行楽シーズンである4月週末の天候不順や集客が期待される年末年始における寒波の襲来、また、人気イベントである夜の動物園が雨に祟られるなど悪天候の影響により入園者数は前年度並みであったが、指定管理者においては多彩なイベントを実施してサービスの向上に努めている。また、フリーディングローンを活用してチンパンジーやカピバラなどの人気動物を確保するとともに、高い繁殖技術を生かした動物繁殖にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>・なお、動物園の経営安定化のため、26年度は県からの管理委託料を大幅に増額しており、同協会の収支は5年ぶりの黒字決算となった。</p> <p>・また、27年度はアフリカゾウの愛らしい姿が間近で観覧でき、餌やりなどのふれあい体験ができるような獣舎改修を予定している。</p> <p>・来園者からの意見・要望には、迅速かつ誠意をもって、真摯に対応しており、県内外の利用者から愛される動物園であるように努めている。</p>

## 8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

<p>26年度の入園者数は、悪天候や寒波などの影響により、前年度並みとなったが、豊富な経験と専門的な知識に基づいて、安全で快適な動物の飼育・展示に努めるとともに、フリーディングローンを活用したチンパンジーやカピバラなどの人気動物の確保や、これまで培った高い繁殖技術を生かし、レッサーパンダやライオンなどの人気動物の繁殖に成功させていることは評価できる。今後、さらに県民に愛され親しまれる動物園を目指し、イベント情報の発信や施設のPRを強化して入園者数を回復させていただきたい。</p>
--